

# 八事山文庫

## 八事山・歳・時・記

智慧と福德を願う 十三参りの日



4月21日・4月29日に「十三参りの日」が行われました。

十三才を迎える男女が集まり智慧を授けていただけるように虚空蔵菩薩に祈願しました。大書院にて僧侶による法話と、興正寺職員による行儀作法講座が行われ、その後能満堂にて智慧授け祈祷が厳修されました。

子供たちも、見守る家族もやや緊張した面持ちで臨みました。ご家族は子供たちの成長した姿を感じた二日となつたことかと思います。(天野)



### 梵風が魔を吹き飛ばす



### 大般若經転読祈禱会

5月5日西山本堂にて大般若經転読祈禱会が厳修されました。僧侶によつて転読される、六百巻もの經典が起こす風(梵風)は、魔やケガれを吹き払うと同時に経典の功德を授けると言われています。

五穀豊穣や國家安寧を祈願し執り行われてきたこの法会は1月・5月・9月の年3回行なわれます。(天野)



△絵解き

毎年4月29日は、興正寺境内で昭和区役所、地元の団体と連携して「八事の森の春まつり」を開催しています。今年は天候にも恵まれ、多くの方にお越しいただきました。

「親子deお遍路」では、子どもたちが学びながら境内を巡りました。「五重塔特別開扉」では、いつもは参拝できない塔内に祀られている五仏に直接お参り



△フリーマーケット

-3006号-

#### 特集

三百回御遠忌によせて	p.2
八事の真実・現場の声	p.6~7
夏安居特集	p.11

いただきました。また、模擬店や大道芸、ステージパフォーマンス、フリーマーケットとあちらこちらで笑顔があふれていました。今後も地元の皆さんと協力し、地域活性の一助となるよう尽力していきます。

(川村)

## 八事の森の春まつり 親子de お遍路

毎年4月29日は、興正寺境内で昭和区役所、地元の団体と連携して「八事の森の春まつり」を開催しています。

今年は天候にも恵まれ、多くの方にお越しいただきました。

■6月9日(土)  
**虫放生会 中止のお知らせ**

誠に残念ですが、今年の虫放生会は中止いたします。楽しみにお待ちいたいたい皆さまには申し訳ありませんが、虫を育てる環境が整わない事と、全国的に虫の生育が非常に悪く成虫の準備が困難となつたためです。興正寺は「命に感謝」の気持ちを大切に、これからも地域の環境づくりに努めて参ります。何卒ご理解のほど、宜しくお願ひいたします。

お詳細は、6月中旬に配布予定のチラシをご覧ください。

## 七月盆合同供養会

■7月13日(金)～15日(日)

トヨタを筆頭に、ものづくりで世界をリードする愛知県の企業。これら企業群が、名古屋市を中心に関内各所に点在し、そつした企業群の方たちとそのご家族が、転勤等の形で、ご名古屋に根付いておられます。

実は、私共興正寺では、県外出身の方に向けて、名古屋

から「七月盆のお勤めを行つております。我が家へと

帰つくるご先祖様をお迎えし、そしてお送りする大切

な盆供養の習慣です。皆さまの「新たな菩提寺」として

ぜひご家族揃つて興正寺にお参りください。

詳細は、6月中旬に配布予定のチラシをご覧ください。

#### 行事のご案内

# 興正寺開山和尚 三百年御遠忌

## 一 興正寺開山天瑞圓照和尚に寄せて —

### — 天瑞圓照和尚の足跡をたどる (6) —

小松 永明

興正寺の創建に欠かせない人物が二人

いる。一人は寺院建立の願いを立て興正寺の開山となる天瑞和尚と、その願いを聞き建立を許した尾張徳川家二代藩主光友公である。

光友公は尾張徳川家初代藩主義直公の長男であり、剣術などの武芸や茶道、書に優れ、殊更書に関しては能書の誉れがあり、後西天皇、近衛信尊と共に天下三蹟と呼ばれた。常日頃より諸事勘約を掲げ、食においては一汁一菜の外は嘗て口にしたことなどがなかったといふ。体調を心配した正室の千代姫が自分の膳を分け、女中に三汁七菜をつくらせたところ、頑として口にはせず侍臣に与えた。公曰く、「一汁一菜は家中の者共への手本として躬行(自ら行う)しているのであり、二菜といつても男の気を養うに足りる材料のみを用いているから、美食よりも養生(健康の維持・増進)に適っているのである。」と。その後、千代姫には自身が候約を守る所以を懇ろに語ったという。また、社寺の信仰に深い帰依(※注釈参照)を持ち、徳川氏すなわち源氏の祖神として仰ぐ八幡神(若宮八幡社)の社殿造営や、父義直の菩提を弔う為の建中寺建立など、多大の経費を惜しまなかつたことから敬神崇仏の念が篤厚であつたことがわかる。

※注釈

【帰依】—すぐれた者(特に人格者)に対する、全身心靈をもつて依存すること。仏教では特に、信仰をいたすことによじらねる。(ブリタニカ国際大百科事典)

こと(全訳古語辞典)

天瑞和尚は高野山から下り八事の山中で修行を続けていたところ、和尚の元を訪れる人が増えてゆき、その噂は光友公の耳にまで伝わる事となり、遂には城に招かれ光友公に法を説くに至つた。その後光友公は「八事山遍照院興正律寺」の寺号と共に寺領五十石を与えたのであつた。

後光友公は「八事山遍照院興正律寺」の寺号と共に寺領五十石を与えたのであつたが、同じように光友公に仏道を問われた僧は数多く存在した。そのうちの一人の高僧は阿弥陀仏の本願を信じて念佛をして文治政策を推し進めたと伝えられています。その子である一代光友公は文武だけではなく、信仰による参拝以外に旅をするよい機会ともなっていました。

人の移動が規制されることとは、情報や物資の移動が規制されることにもつながります。藩内に不審な動きをする者はいないか、常に目を光らせていました。天瑞和尚は名古屋城に召し出され、いろいろとお尋ねを受けたはずです。今でも、ある自らが手本となり、慈悲心に基づいて衆生(民衆)を導くことを常々考えていた

光友公はこれに深く感銘を受け、和尚に帰依するきっかけとなつた。和尚が篤く志す戒律復興への一面ともいえる出来事である。

—はじめに—

平成30年は、興正寺開山天瑞圓照和尚の三百回忌です。各地を歴訪する中で真言律宗の寺院建立を志し、縁あつてこの八事の地に「八事山遍照院興正律寺」を創建した和尚は、いかなる人物であつたのか。寺に伝わる文物からそれを紐解き、一年にわたりご紹介します。また、今年の興正寺カレンダーでも同内容を掲載しておりますので、ご高覧いただければ幸いです。

### カレンダー連動企画 (6)

## 【第六回】—尾張藩との関わりー (平成30年6月カレンダーより)



名古屋城



襖絵(興正寺 竹翠亭)

### 平成30年興正寺カレンダー

開山和尚三百回忌記念の特別なカレンダーです。  
當山の年中行事もご案内しております。  
納経所・各窓口で数量限定で無料配布しております。  
この機会に是非ご覧くださいませ。



八事山 興正寺

二〇一八年六月

というバスボートを見せてることで、他国への出入国が許されました。ただし、有名な神社仏閣などへの参拝は大きな規制がない。信仰による参拝以外に旅をする人々が、どうしたお役の方の詮議を受けた

会社のトップに会えるなんて稀なことです。まずはそうしたお役の方の詮議を受けたどのような人物かも分からぬうちから

けれど怪しいところはなく、かえって人がいる。常に目を光らせていたことでしょう。そのような中で、「山深い八事の地で修業をし、多くの人がその元に集っている僧がいる」と聞けば、どのような

人物か見定めないわけにはいきません。天瑞和尚は名古屋城に召し出され、いろいろとお尋ねを受けたはずです。今でも、その徳の高さを認められ、光友公に直接参詣し、遂にはその帰依を受け興正寺創建に至りました。

## 新 杜のコラム

### 最後の言葉

「曇りなき 心の月を 先立てて  
浮世の闇を 照らしてぞ行く」  
これは伊達政宗公の辞世の句である。戦国武将は戦地に赴く前に辞世の句を残していた。戦に出向くときは、常に死を意識する覚悟の出立ちはある。我が身が終わるかもしれないと思い、言葉を残して行った。もしも生きて帰ったならば、辞世の句はまた作られる。だから辞世の句といつても、必ずしも死の間際に残されたものとは限らない。

亡くなる前、政宗公は身体を洗い清めて寝床に入った。眼れない朝を迎えたあと、洗顔と整髪を済ませ、西方に向かい合掌した。そして「死に顔をみだりに人にさらしてはならない」と言い残し、この歌の感慨を胸に波乱の人生を閉じた。諸説あると思うが、「かぎりない明るい心の灯りを先に掲げて、暗い世界を照らしながら進んでいく」という意味だそうだ。

辞世の句の中には人生観や心意気覚悟、あふれる想いが短い言葉に表

されている。勇ましい武将の外觀からはうかがい知れない、思いがけない内面が垣間見られる。このような昔の人たちの言葉を拝見すると「世の中とは・人生とは」ということが考えさせられ、心打たれ熱くなる。自身の最後を迎える時、政宗公みたいに洗顔・整髪を済ませ西方に向かい合掌できるであろうか。また辞世の句とまでは言わないが、何か言葉を残せるだろうか、どういい考えてしまう。

以前、友人と最後に残したい言葉はあるか?と話したことがある。勿論、理想と現実とは違う事は理解しているが、出来れば「ありがとう」「楽しめた」「仏の世界を確認していく」「お先に」などが出て。このような言葉が残ることは良いことかもしれない。人生は何があるかわからない。何か残せる生き方をしたいものである。(恵若)



### 興正寺さんぽへ 出かけましょう!

#### 興正寺さんぽ③ 五重塔~西山本堂へ

五重塔(図④)を背にした大仏さまにご挨拶したら、左手には八琴庵(図⑤)という美味しい蕎麦や甘味で一服できるところがありますが、ここはさんぽのあとあと。五重塔を右手に見ながら進みましょう。

春には真っ赤な椿と薄桃の桜のコラボが見られ、足下には花を浮か

べた水の流れで彩られた五重塔を間近にできます。夏の緑や秋の紅葉と衣替えをする五重塔はいつ見ても美しい興正寺のシンボルです。塔に気を取られて歩いていると、いつの間にか橋を渡っていることに気がつきます。ここは「微妙の橋」と言って、仏さまの功德により、普段気付かないうちに犯してしまう罪を許して頂ける、ありがたい場所なんですよ。心の中でごめんなさい、ありがとう

つぶやいたら、また右手を見てくださいね。大きな木と大きな石(図⑥)が皆さんをお迎えします。五重塔のちょうど北西の角にある、

「縁結びの樹となで石」です。2本の枝が1本につながっている不思議な樹に手を合わせ、石の表面を3度なで、良いご縁を願いましょう。ここから道が3つに分かれます。まずは正面の、大きな屋根のお堂に向かいます。五重塔に相対している「西山本堂」(図⑦)は、阿弥陀如来さまを本尊とした「極楽浄土」、きらきらした仏さまがいっぱいです。ぜひ中に入ってお参りしてみましょう。(井上)



興正寺の結婚式を通して、  
和の空間の素晴らしい  
たくさんの人々に広く発信していきたい。

株式会社シュシュブライダル  
うえだたけひと  
代表 上田 剛士さん

新郎・新婦の「こんな結婚式がしたい!」というニーズにとことん寄り添い、  
会場選びから式の内容までトータルに企画・運営するウェディングプロデュース  
会社の代表を務める。

Profile  
新郎・新婦の「こんな結婚式がしたい!」というニーズにとことん寄り添い、  
会場選びから式の内容までトータルに企画・運営するウェディングプロデュース  
会社の代表を務める。



八事山文庫  
**地域版**

お寺というと、お参りやお葬式などをイメージしがちだが、お寺には「仏前式」といわれる結婚式があることを存知だらうか。興正寺でも、週末を中心に、通年で数多くの結婚式が行われている。今回は、興正寺の結婚式を専属的にプロデュースしているシュシュブライダルの代表・上田さんにお話を伺った。



今から7年前に、初めて興正寺を訪れた上田さん。境内のロケーションにひと目惚れし「ここで結婚式を企画したい」と、自ら興正寺に具体的な挙式・披露宴の形を提案したことがはじまりだった。「もともと興正寺さんでも僧侶の方や関係者の方が、数年に一度の割合で結婚式を行っていたんですね。しかし、せっかく素敵なお寺で結婚式を挙げても僧侶のシヨンなので、きちんととした結婚式・披露宴を行えるようにして、関係者だけでなくもっと多くの人に興正寺で結婚式を挙げてもらえるようにならう」と、ご提案しました。』と、上田さん。さらに、「昔は、近所のお寺が遊び場だったりして、子どもの頃からお寺と繋がりがある社会でした。しかし、時代の流れで子どもがお寺で遊ぶことも少なくなり、セレモニーホールでの葬儀が増え、お寺を訪れるのは少なくて、若い人達のお寺離れが問題になっています。そこで、お寺で結婚式を行うことでそれが解消できるのではないかと考えたんです。結婚式は、若い人が集まります。結婚式を行って、お寺で行うことでもう少し興正寺という場所で行うことでもう少し興正寺を増やしていくキッカケに感じてもらつて、どんどん興正寺のファンを増やしていくことを感じています。」

四季折々の表情が楽しめる普門園も素敵な結婚式を演出。



新郎・新婦とその家とのご縁を結ぶ、仏前式。



百二十畳の大書院を貸切にして行われる他にはない披露宴。

お寺というと、お参りやお葬式などをイメージしがちだが、お寺には「仏前式」といわれる結婚式のシェアは、

たった1%。「仏前式」というと宗教色の強い昔ながらのやり方で、時間も長く、独特の空気が漂う式がほとんどなのだろう。「仏前式」をそのまま行つても、若いカップルが「仏前式」をやりたいとは思いません。スタートの時はまずそろそろ変えようと、僧侶の方と相談しながら変えていく。しかし、「仏前式」として大切にしなければいけないものは守りながら、時代のトレンドなどを融合させ、新郎新婦だけでなく参列された方にも感動していただけのようないい「仏前式」を作りました」と、上田さん。

スタート当初は、「仏前式」の認知度があまりにも低かつたため、

興正寺の縁日やマルシェでチラシを配つたり、模擬結婚式を開くなど、様々な努力をされたそうだ。そして今では、興正寺の結婚式はたくさんのカップルから人気を集めるようになった。

「興正寺で式を挙げたカップルが、2年後の結婚記念に興正寺を訪ねてくれたこともあります。しかも子ども連れで…。そういう姿は本当に嬉しいですね。」と、笑顔の上田さん。「これからも興正寺の「仏前式」を通して、結婚式の大切な意味や素晴らしいところを改めて伝えていきたいです。また、『仏前式』結婚式をひとつ成功例として、お寺離れに悩む全国のお寺が、興正寺さんを参考にしてくれたらという思いもあります。これからも興正寺で、感動と幸せの瞬間をたくさん作り上げていってくれることだらう。



四季折々の表情が楽しめる普門園も素敵な結婚式を演出。

お気軽に「仏事のひととき相談」をお寄せください。  
お葬じまい・お墓じまい・法事の事…  
僧侶がお答えいたします。  
お葉書に必要事項を明記の上、左記宛先までお送りください。  
【必要事項】(お葉書に記入ください)  
・ひととき相談 (40文字まで)  
・お名前  
・年齢  
・性別  
・ご住所  
・お電話番号  
(ひととき相談以外は掲載いたしません)

【お葉書き宛先】  
〒466-0825  
愛知県名古屋市昭和区八事本町7-8  
八事山興正寺 普照殿内  
八事山文庫 「仏事のお悩み相談室」係

A

Q

「四苦八苦」という言葉が  
仏教から来ていると聞きましたが、  
どういう意味なのですか?

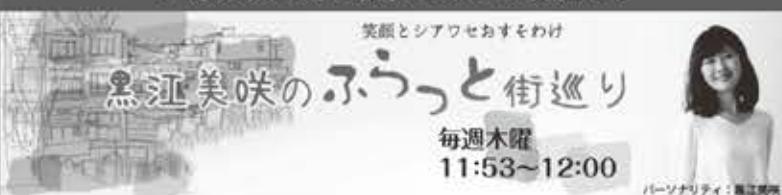
仏事の疑問に僧侶がホンネで答える  
「お坊さんダイレクト」の出張版!  
皆様のひと言お悩み相談に僧侶・  
樹田英伸さんがお答えいたします。

**お坊さんダイレクト・出張版**  
**仏事のお悩み相談室**



ひふみちゃん

「もっと地元を好きになってほしい」という想いから生まれた  
八事山興正寺の提供のラジオ番組です



黒江美咲のふうっと街巡り  
毎週木曜 11:53~12:00

パーソナリティ：黒江美咲

知ってるお店が登場するかも?! @FM80.7

5月3日 放送 室内釣り堀・NEWココス

天白区塩釜口2丁目1521 TEL:080-8259-3437

土・日・祝日/9:30~18:00

月・火・水/11:00~17:00 定休日:木・金曜日

室内の釣り堀で、鯉や金魚を釣ることが出来ます。初心者でも簡単に釣れるので、お子さまの釣りデビューにもってこい!金魚すくいを楽しめるブースもありますよ。

5月10日 放送 メンディブス

天白区塩釜口2丁目1520 TEL:052-838-8839

受付時間/9:00~17:00 営業時間/9:00~18:00

定休日:毎週月曜日

天然由来のシャンプーや葉剤にこだわり、髪へのダメージが少ない施術をモットーとしています。個室でゆったりリラックスしながら美しくなりましょう♪

5月17日 放送 なんじやもんじや 塩釜口店

天白区塩釜口2丁目702 TEL:052-836-0688

火~土/17:30~23:30(L.O.)

日/12:00~13:30(L.O.) 17:30~22:00(L.O.) 定休日:月曜日

吹き抜けが開放的な、もんじやとお好み焼のお店。人気ランキング上位の「じやが焼き」や「タイワンもんじや」は他では見ないメニュー。ぜひお試しあれ!

5月24日 放送 お肉とおばんざい 跳 (ハネル)

天白区塩釜口1丁目835 TEL:052-833-3999

17:00~翌1:00 定休日:なし

おしゃれな雰囲気の店内カウンターには美味しいおばんざいがズラリ。学生に嬉しいオムライス食べ放題のガツツリコースもあり。みんなでワイワイ楽しめます。

5月31日 放送 PHAT

天白区塩釜口2丁目705 TEL:052-833-7700

パーマ・カラー受付/10:00~19:00(日・祝10:00~18:00)

カット受付/10:00~20:00(日・祝10:00~19:00)

定休日:毎週月曜日/第2・3火曜日

店内は奥行きがあるおしゃれな空間。お客様の来店時のコーディネートからスタイリングを提案してくださることも。夏に向けて新しい自分になってみては?

こちらからもお聞きいただけます <http://fma.co.jp/f/prg/machimeguri/>

「じもポン(地元応援クーポン)」が使える加盟店さんをご紹介!

地元応援クーポン

じもポン

を使ってみよう♪

第3回



地下鉄鶴舞線いりなか駅近くの「リュンヌ滝川」は、季節感の味わえるかわいらしいケーキが並ぶお店。マーガリンではなく100%バターを使用し、保存料も使っていないケーキは、付近の病院へお見舞いに行く方々にも好評です。落ち着いたイートインスペースではお好きなケーキ1種+ドリンクが100円引きで味わえますよ。

リュンヌ滝川

名古屋市昭和区滝川町22-1 TEL:052-835-1731

営業時間/10:00~19:00

定休日/木曜日(祝日は営業の場合あり)



馬酔木(右)と満点星(左)のツーショット

爽やかな風の元、お山は夏仕度です。幽かに光る螢の背景を白く彩る半夏生が、ビオトープにそろそろ咲き始めますが、今年は残念なことに蜜放生会ができません。全国的に生育不良とか。毎年同じように見える八事山も、やはり環境変化の影響は大きいようで、実は年ごとに動植物の様子が変わります。オタマジャクシの大発生、特定の花だけが里山を占領するなどいろいろあって、自然是優しいだけではなく、クールで厳しい貌を見せる事もあるのだと思います。興正寺はお寺ですから私達は仏さまの前を横切る

時、軽く合掌して頭を垂れます。ある日、お山を見てふと、何となくうつむいた花が多いよう気がしました。しだれ梅、しだれ桜、ヒマラヤ桜にハナカンドウなどは下に向いて恥ずかしそう。レンギョウや花蘇芳などは、合掌をしているみたいです。仏さまに何を祈っているのでしょうか。写真は初夏のある日、満開を迎えていた馬酔木(右)と満天星(左)。銀の鈴音の二重奏が響いています。今月は「自然の厳しさ」を増す日差しのもと、少し襟を正して歩いてみましょうか。(井上)

## お知らせ掲示板

甘味・食事処 八琴庵

6月 季節のそば

花わさび蕎麦

5・13・21日限定



爽やかな辛みのある花わさびがきいていて、初夏にぴったり。すっきりとした味わいで、何杯でも食べられそう。ひやかけのお蕎麦です。ぜひお召し上がりください。

6月定休日:6/12(火)・7月定休日:7/10(火)

営業時間:10:00~16:00 (L.O.15:30)

定休日:毎月5日を過ぎた火曜日

八事のお山の  
昨日

今日  
あした

## 富田うしほ 句碑

西山本堂から能満堂へ上る  
階段の右側に大きな石に刻まれた句碑があります。

拝み打つかんかん佛や  
蟬しぐれ



△うしほ喜寿記念句碑(昭和二十九年)

富田うしほは、俳句を嗜む母の影響で十二歳の頃には句作をして親しみ、二十五歳の時に村上鬼城初めての弟子となり、生涯、鬼城一筋に俳諧の道を歩み続けました。うしほが昭和三年に創刊した俳誌『若竹』は、息子である富田潮児と加古宗也という良き後継者を得て、平成二十八年八月には一〇〇号を刊行し現在に至つており、三河・名古屋を中心に、鬼城・うしほの師系にあることを誇りに思う多くの「連衆」によって支えられています。

要因のひとつに松尾芭蕉の存在があります。「俳句といえば芭蕉」と誰もが思い浮かべるほどに有名な人物ですが、実は、名古屋のテレビ塔の足元に「芭風發祥の地」の石碑があります。石碑がそこに建立

### 万緑茶会

日 時 6月4日(月)  
10時30分・12時・14時  
場 所 茶室 竹翠亭  
一 席 茶券 千円  
20名(要予約)



### マルシェ茶会

日 時 6月4日(月)  
10時30分・12時・14時  
場 所 茶室 竹翠亭  
一 席 茶券 五百円  
20名(要予約)

興正寺まなびの講座「日々折々の書」を担当いただいてる中村均氏の「かな書」が紡ぎだす物語とともに、一服のお茶をお楽しみください。

僧侶のお点前によるお茶席はお寺ならではのもの。初心者の方も参加いただけますので、お気軽にどうぞ。

# 歴史浪漫

其の  
十三

石碑でめぐる

西山本堂から能満堂へ上る  
八四)芭蕉が言葉の遊びで  
あつた俳諧を芸術の領域まで  
向上させた句集「冬の日」五歌

されたのは、貞享元年(一六四四)芭蕉が言葉の遊びで  
仙がここで作られたことにより  
ます。芭蕉は、名古屋・熱田・  
尾張・三河の人々と交流が  
あり、このことが尾張・三河  
の俳諧発展の大きな力となつていきました。

斗九は名古屋朝日俳句会  
の創立者であり、疊堂は「草露  
集」を著わすなど、いずれも  
地域の俳諧の振興に尽くした  
人物です。

お茶がおしえてくれた しあわせ

## 翠だより 「夢見桜の席」



竹翠亭

「夢見桜の席」

お茶会は生き物。  
そこに生き生きとした心を宿させる  
のは必ずとお客様の共同作業といわ  
れます。昔から趣向の楽しみは「亭主  
七分、客三分」とい、亭主にうつては  
どのようにお客様に楽しんでいただき  
けるかを考えるのが珠玉の時間です。

「夢の中のようではありませんか?」  
桜の精に見送られ、月見台の本席まで  
歩くのも旅気分。雨模様を気にして  
軒下に設けたお席は、白砂にほんやり  
浮かびあがり園らすも雲の上のようで  
した。結界にした苔玉仕立ての旭山桜  
は溝開で、竹皮の弁当箱の菓子器を  
開けると、はかなげな桜色のお菓子が。  
より、その日のお客さまが本当の旅人  
になつてくださったことに心から感謝  
するのです。

アイデアが大いに發揮されることとなり  
ました。結果、当初は思いもよらな  
かったストーリーで、私たちにとって  
も記憶に残る茶会となりました。  
はじまりの時間が近づき、順にお客  
さまが竹翠亭を訪れます。そこから  
お客様には、夢の中の桜に会う「旅」  
に出かけていただきました。茶券は  
切符、旅のお供は昔懐かしい喫弁茶  
とお干菓子、途中下車のカンチン茶屋  
が寄付です。三百年前のお蔵の中は、  
あふれんばかりの八重桜に天井からの  
桜の映像も重ねて「はて、ここはどう?

茶会の翌日、野点をするはずだった  
しだれ桜の下に立つてみました。光が  
透き通るほど柔らかい若葉のなんて  
美しいこと。葉桜はお客様の旅を  
見守つていてくれたのですね。

次回の想耕茶会は六月四日「万緑  
の茶会」です。お茶会はどなたにも等  
しく開かれています。八事の森は都会  
のオアシス、是非、美しい緑に会いに  
いらしてください。  
(竹翠)

こよみよみ  
六月・水無月  
田に水を張る「水鏡月」  
「水の月」

六月六日 芒種  
稻や麦など穀の出る作物の種をまき始める時期。稻  
の種先にある針のような突起をせと呼ぶ」とから。

六月二十一日 夏至

一年でいちばん夜が短く日が長い頃。気温が  
一気にあがり、暑さが日に日に増してゆく。

6月

こんなところに

興 正 寺

## 八事今昔物語り ～そこにお寺のある暮らし～ 10

もう初夏ですね。夏目前ですが、それでも昨年とは様子が少しすつ違うものです。永遠には続いた自然は巡るようになりますが、同じ時間は一度と無いのです。それでも、暦は「明日がまた必ず来ます」と神仏が私達に約束してくれるためにあるような気さえします。

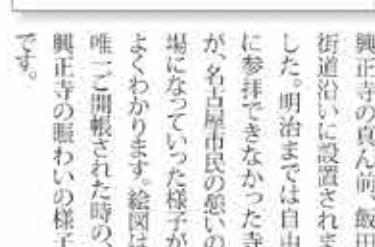
レトロな暦を聞きますといろいろな漢字が目につきます。先回の六曜や干支、九星や二十四節氣等々。6月の声を聞きますと、夏至や入梅の文字も見られます。今年は、「大つち」「小つち」という文字が見られる暦もあります。「天上」とか「大犯土」とか書きますが、

この大つち、小つちは7日間ずつ続きます。この期間は「土(地面、大地)を犯しちやダメ」という意味なのだそう。石屋さんはこの時期休業したり、造園業も作業を限定するところもあります。要は大地に感謝し、お休み頑くです。また、日本では材木となる木々を切るのにも11月から2月にかけての新月期に切るといわれます。またまた迷信?いえちゃんと理由があるのです。夏に繁り秋に落葉

すると、余分な栄養分が残っていないので虫がつかず、黴びず、腐りにくい良い材木になるわけです。ご先祖さまは、土にも樹にも命があつて、元気なときも力の無い時もあり、それを経験でちゃんと知っていたのですね。お寺ではすでに夏安居(5月30日～)に入り、土の中の小さな虫にも心を配る期間となります。お盆(旧暦7月15日)までのこの日々は、毎日懺悔の説経が続きます。お寺は暦で自然のリズムを知つて日々に活かし、反省と感謝を持つて自然と共に暮らす事を実践している場所なのです。(井上)

街を歩くと、こんな場所あんな所にも興正寺が！あなたはいくつ知っていますか？お出掛けの時にはぜひ、探してみてくださいね！

地下鉄八事駅改札口手前  
地下鉄上前津駅構内通路  
飯田街道沿い



興正寺の真ん前、飯田  
街道沿いに設置されました。明治までは自由  
に参拝できなかった寺  
が名古屋市民の憩いの  
場になっていました様子が  
よくわかります。絵図は  
唯一開報された時の  
興正寺の賑わいの様子  
です。

## 今日の興正寺サン



南区在住  
そらみちゃんファミリー

ネットで興正寺マル  
シエのことを知り、初めて  
興正寺を訪れたとい  
う、そらみちゃんファミ  
リー。「3年前に名古屋  
に引っ越してきたばかり  
で、大好きな娘もとても  
お機嫌なんですよ。」  
と、そらみちゃんママ。  
「ママ友達にも興正寺を  
おすすめしたいです。」



大府市在住  
坂野さんファミリー

「ママ友達にも興正寺を  
お話ししてくれた。  
「ママ友達にも興正寺を  
お話ししてくださいね。」  
とお話を始めたので、  
娘連れてのママ達も、リフ  
ターリー。お友達と一緒に、  
いいですね。」とのこと。  
お参りをされるように  
なったそうだ。  
また見つけてほしい。

## 滝川町東交差点



①八事駅2番出口改札口手前



②鶴舞駅1・6番出口改札口手前



③市役所駅北改札口手前

## 地下鉄八事・御器所・市役所駅チラシスタンド

チラシスタンドの上部に取り付けられ

ている広告で、興正寺が有する文化財とそれらを公開する宝物展についての案内がされています。

白くさわやかな中  
に興正寺のシンボル  
五重塔のスッキリ  
としたロゴマーク  
が映えます。街の  
皆さまのシンボル  
となるよう頑いを  
込めた看板になつて  
います。

興 正 寺

こんなところにも

八事交差点手前に併む三角看板も  
こちらは近日リニューアル予定です！



△篤信者たちもお参ります



△夏安居のご本尊・釈迦牟尼佛の掛軸前で

**興正寺 夏安居**

5月30日(開白)～8月3日(結願)  
朝9時～9時30分  
西山本堂 弘法大師前の釈尊掛軸前にて



△至心に戒めのお経を読みます

インドには雨季があります。この期間はしばしば猛烈なスコールが降り、主要な道を残してあちこちが水没しますが、現代であってもバスなどの交通インフラが亂れしまいます。しばらくして水は大地に吸い込まれていきますが、現代であってもバスなどの交通インフラが乱れます。お釈迦さまは弟子たちに、午前の托鉢の後にはそれぞれの思う所で瞑想するように指導しましたが、雨季の間はあちこちでの修行もままなりません。

そこで篤信者から小高い土地と建物の施しを受け、修行僧たちが一か所に集まって雨季の修行をおこなうようになります。この場所こそが「お寺」のはじまりであり、この雨季の修行を「夏安居」と呼びます。日本に伝わった仏教では、インドのような雨季のない風土のなか、旧暦の4月16日から7月15日が夏安居の期間として定められます。(現在のインドの雨季は新暦7月～9月頃)。この期間は、

興正寺ではこの期間、西山本堂にお釈迦さまの掛軸を

お祀りし、その前で毎朝僧侶が交代々々で戒律のお経『梵網經』を読み上げ、自身が戒めを守っているかどうかを至心に懺悔します。約90日間の夏安居が終わる最後の日には「布薩会」を執り行い、大勢の僧俗が集つて改めて戒律を 守られているかどうかの大反省会をおこないます。是非

この期間に皆さまも本堂にお参りください。

(柳田)

普段とは違う一種の道場のような状態になります。普段以上にお互いを切磋琢磨し合い、また自分たちの修行に対する認識に間違いやズレがないかをくり合わせる機会ともなります。少し違いますが、イスラム教のラマダンのように、一人一人が心を研ぎ澄まし、清らかに修行に打ち込むのです。

興正寺ではこの期間、西山本堂にお釈迦さまの掛軸を

お祀りし、その前で毎朝僧侶が交代々々で戒律のお経『梵網經』を読み上げ、自身が戒めを守っているかどうかを至心に懺悔します。約90日間の夏安居が終わる最後の日には「布薩会」を執り行い、大勢の僧俗が集つて改めて戒律を 守られているかどうかの大反省会をおこないます。是非



△平等院鳳凰堂の前で、皆で記念撮影



△萬福寺の和尚さまにお寺の魅力を教えて頂く



随行僧侶 樹田英伸僧侶  
西山海良僧侶  
平成30年 4月8日 (日)  
参加人数 73名

## 興正寺僧侶と行く修養会やすらぎ団参

—春の京都宇治名刹巡り—

## 興正寺のまなびの講座紹介

—仏教入門講座—

佛教とは「仏の教え」「仏になるための教え」と解釈されます。ではその「仏」とは何かと言ふと、「しくなつた方やご先祖さまのことではなく、「迷いから目覚めた者」という意味で、その代表格として称されるのがお釈迦さまです。

佛教入門講座では、お釈迦さまが説かれたお経を読み解きながら、私たちが迷いから目覚め、心豊かに生活するにはどうしたら良いのかを、様々な例話や時事問題を題材に考察していきます。他にも神話や歴史書などを取り上げて、日本の先人たちがどういう生活をしていたのか、それが現代にどう生きかされているのかを解説しております。初心者の方が敬遠しがちな難しい仏教用語は一切使わずに、脱線話や裏話も多々あるので、どなたでも気軽にご参加頂けます。

お寺の施設の中だからこそ学べる特別な時間を、ぜひ、ご一緒に過ごしましょう。

◆開催日時／毎月1回 最終木曜日  
14時～15時30分

◆会場／普照殿 華宮

◆支料／無料

◆持ち物／仏前勤行集五百円  
(納経所でお求めください)

◆定員／約30名

※行事等で日時、会場等を変更する場合がございます。  
八事山文庫のカレンダーをご確認ください。

## ウポーサタ瞑想一日修養会【次回の日程】

◆開催日時  
8月4日(土)9時30分～13時30分

※当日は「布薩会」にも参加いただきます。

◆申込締切  
8月1日(水)

※お申込・お問合せは【光明殿永代供養券付】まで

夏が落ちる時間が日に日に遅くなつてくるといよいよ夏の足音が聞こえてきたような気持になります。そうなると「梅雨」の時期も近いということで、毎日天気予報とにらめっこしつつ、晴天を待ちわびたりします。しかし雨の日ならではの楽しいこともあるわけでお気に入りの傘をさせるとか…小さな楽しみをみつけながら、明るかに暮らせたつなど思つて今日この頃です。

## 一編集後記

## 興正寺行事カレンダー

# 6月

普門園拝観(竹翠亭利用)時間 10:00~16:00  
休園日(休業日) / 2(土)・7(木)・9(土)・11(月)・15(金)  
・16(土)・18(月)・19(火)・23(土)

月	火	水	木	金	土	日
28 大安	29 赤口	30 先勝	31 友引	1 先負	2 仏滅	3 大安
4 赤口 ☆想耕茶会 10:30 12:00 14:00 竹翠亭 要予約 一席 1,000円	5 先勝 ◎大隨求明王 緑日 露店アリ ★10:00 特別不動・干支巡り ◎不動護摩堂大祭 10:30 12:00 不動護摩堂 不動不屈不退転護摩  ★永代供養受付定休日 大隨求明王	6 友引 芒種 ▽遊翠の心きもの装い 初級 10:00 応用 13:00 竹翠亭 要予約  大隨求明王	7 先負	8 仏滅 ◎大日如来緑日 理趣分經祈祷 12:30 大日堂  大日如來	9 大安	10 赤口 ▽阿息觀 14:00 奥之院 杉浦宣秀
11 先勝 戌の日 ◎安産合同祈祷会 14:00 本堂	12 友引 ▽遊翠の心 写経 10:00 14:00 竹翠亭 要予約 支具料 1,500円 西山海良  ★八琴庵定休日 ★永代供養受付定休日	13 先負 ◎虚空藏菩薩 緑日 露店アリ ★10:00 特別不動・干支巡り 10:00 法話会 ◎不動護摩堂大祭 10:30 12:00 不動護摩堂 不動不屈不退転護摩  虚空藏菩薩	14 大安 ▽遊翠の心 茶の古典を読む 10:00 竹翠亭 要予約 支具料 1,500円 樹田英伸  阿彌陀如來	15 赤口 ◎東山 奥之院緑日 13:00 奥之院 善之綱おくり	16 先勝 ▽御詠歌入門講座 14:00 普照殿 鈴村智弘	17 友引
18 先負 ◎觀世音菩薩緑日 13:00 觀音堂 護摩祈禱/法話 ▽仏典読解講座 10:00 普照殿 樹田 英伸  觀世音菩薩	19 仏滅 ▽阿息觀 14:00 奥之院 杉浦宣秀  ★永代供養受付定休日	20 大安 ▽阿息觀 14:00 奥之院 杉浦宣秀  弘法大師	21 赤口 夏至 ★TERA-YOGA 10:00 普照殿 要予約 ◎弘法大師緑日 10:30 弘法堂 読経/法話 ▽写経写仏講座 11:30 光明殿 ◎月並御影供 14:00 西山本堂 ★マルシェ茶会 10:30 12:00 14:00 竹翠亭 要予約 一席 500円  弘法大師	22 先勝 ▽遊翠の心きもの装い 応用 10:00 竹翠亭 要予約 ▽遊翠の心 水墨画 14:00 竹翠亭 要予約  弘法大師	23 友引 戌の日 ◎安産合同祈祷会 14:00 本堂	24 先負 ◎地蔵菩薩緑日 13:00 能満堂 大数珠おくり 紙芝居  地蔵菩薩
25 仏滅 ▽遊翠の心 日々折々の書 10:00 竹翠亭 要予約 支具料 2,000円  不動明王	26 大安 ▽遊翠の心 阿息觀 10:00 14:00 竹翠亭 要予約 支具料 1,500円 西山海良  ★永代供養受付定休日	27 赤口	28 先勝 ◎不動明王緑日 14:00 不動護摩堂 護摩祈禱/法話 ▽仏教入門講座 14:00 普照殿 森田泰澄 ▽遊翠の心 茶の扉 10:00 14:00 竹翠亭 要予約  不動明王	29 友引	30 先負 ▽阿息觀 14:00 奥之院 杉浦宣秀	1 仏滅

※阿字觀(杉浦宣弘師)／御詠歌上級講座(鈴村隆弘師)／御詠歌初級講座(鈴村智弘師)の開講日程については、担当僧侶に直接お問い合わせください。(電話問い合わせ不可)

**負け** ふ どう ご ま どう たい さい  
-不動護摩堂大祭- 不動不屈不退転護摩

6月5日火・13日水 ●祈祷料/2,000円 ●時間/各日共に1座目:10時30分~/2座目:12時~/  
同時開催 東海三十六不動尊靈場お砂踏み開壇

興正寺不動明王にあやかる不撓不屈の精神、御自身を律する強い心と負けない気持ちを養う為の訓戒として、  
僧侶からあなたへの「一文字(自戒念字)」を特別に授与致します。